

RCカーでケイリン

イベントへ参加される選手の方へ（2026/6/29更新版）



RC-KEIRINとは

RCカーでケイリンは、
公平な条件の中で、駆け引き・判断力・
思いやりを競うモータースポーツです。

競輪の競技性をRCカーで表現し、安全性と観客性を両立した新しい競技文化の創造を目指します。

単なる速さだけを追求するのではなく、強引に抜くことではなく、位置取りや判断力によって勝負することに価値があります。そして、相手を尊重しながら安全に競い合い、観客を魅了する走り、と後世に残る文化の創造を目指します。



RC-KEIRIN 競技としての魅力

- 駆け引き

ただ速いだけでは勝てません。

隊列の中で位置を取り、仕掛けるタイミングを見極める判断力が求められます。

- 判断力

時速100km近い速度域の中で、一瞬の判断が順位を左右します。

- 思いやり

接触にしない事を最優先としお互いを尊重しながら競い合う文化を大切にしています。

- 観客性

選手同士の駆け引きや位置取りが生み出す緊張感は、観客にも伝わる大きな魅力です。

- スピード

競輪場という特別な舞台で行われる、ハイスピードバトルを体験できます。



RC-KEIRINイベントとしての魅力

- **競輪場という特別な舞台**

普段は入ることのできない競輪場のバンクを使用した特別な体験。

- **選手が主役**

マシンだけでなく、選手の判断力や駆け引きに注目が集まります。

- **観客と一体になる興奮**

歓声や応援がレース展開に緊張感を生み出します。

- **参加者同士の交流**

年齢や経験を問わず、RCカーを通じて新しい仲間と出会えます。

- **体験できるモータースポーツ**

観るだけでなく、実際に走ることによって競技の魅力を体感できます。

- **新しい文化を創る**

参加者・観客・運営が一緒になって、新しいモータースポーツ文化を育てていきます。



世界展開の可能性

- **日本発の新しい競技文化**

RCカーでケイリンは、日本の競輪文化とRCカーを融合した、世界に例のない新しいモータースポーツです。

- **言葉を超える競技**

駆け引き、判断力、思いやり。競技の魅力は国や言語を超えて共有することができます。

- **誰もが参加できる**

年齢や性別、国籍を問わず、同じルールの中で競い合うことができます。

- **日本から世界へ**

日本で育てた競技文化を、世界中のRCファンへ届けたいと考えています。

- **未来への挑戦**

競輪場だけでなく、世界各地の会場で開催される新しいモータースポーツを目指します。

RCカーでケイリンの夢

日本で生まれた競技文化を、世界へ。



RCカーとは？

RCカー（Radio Control Car）は、無線通信によって遠隔操作する自動車模型です。
アクセル・ブレーキ・ステアリングを操作し、実車と同じように走行させることができます。

世界中で楽しんでいるモータースポーツ

RCカーは世界中で競技が行われており、スピードを競うレースや耐久レース、オフロード競技など様々なカテゴリーがあります。

RCカーでケイリンとの違い

一般的なRCレースでは、速いラップタイムや車両性能が重視されます。

一方、RCカーでケイリンでは、

「公平な条件の中で行われる駆け引きや判断力」を重視しています。

RCカーでケイリンが大切にすること

- 安全に走行すること
- 他の選手を尊重すること
- 接触しないこと
- 駆け引きを楽しむこと

新しいRCモータースポーツ

RCカーでケイリンは、RCカーの楽しさと競輪の競技性を融合したモータースポーツです。



シャーシ



RCカーの土台となる重要なパーツ

シャーシは、モーター・バッテリー・サーボなど、すべての部品を搭載するRCカーの骨格です。走行性能や安定性を大きく左右する重要な部分です。

RCカーでケイリンが重視すること

RCカーでケイリンでは、**公平性・安全性・観客性**を重視しています。

現時点では**1/10電動ツーリングカーフルタイム4WD**を基本車両として採用しています。

なぜフルタイム4WDなのか

- 高速域で安定している
- 集団走行に適している
- 急な挙動変化が少ない
- 接触リスクを低減できる

なぜツーリングカーなのか

- 世界中で普及している
- 多くのメーカーから販売されている
- 入手しやすい
- 実際の自動車を模したボディを使用することで、競技を知らない方にも親しみやすい

現在使用できない車両

- DDシャーシ
- ワンウェイ仕様

目指すもの

RCカーでケイリンは、車両性能の差ではなく、**選手の判断力と駆け引きで勝負する競技**を目指しています。

モーター



RCカーの動力源

モーターはRCカーを走らせるための動力源です。モーターの種類や性能によって、加速性能や最高速度が変化します。

RCカーでケイリンが重視すること

RCカーでケイリンでは、単に最高速度を競うのではなく、**安全性・競技性・観客性**のバランスを重視しています。

なぜモーター規定があるのか

速度にばらつきが大きいと、選手同士の駆け引きや位置取りを行う時間が短くなり、競技としての魅力や安全性が損なわれる可能性があります。

また、速度が低すぎると、競輪場ならではの迫力や緊張感を表現することができません。

そのため、RCカーでケイリンでは、競技性と安全性の両立を目指し、使用可能なモーターを定めています。

クラスごとのモーターについて

- **RC-KEIRIN Light**（初めて参加される方から、慣れてきた方も参加できる入門クラス）
- 13.5T指定モーターを使用（現時点では、進角は出荷時の設定にてご参加ください）
- 初心者でも安全に走行技術や隊列走行を学べる速度域を目指しています。
- 現時点では最終減速比3.7に設定（最終減速比フリーのクラスも検討しております）
- （TT-02の場合、スパー74T、ピニオン52Tで3.7になります 注：要加工）
- **RC-KEIRIN**
- 4.5T・5.0T（推奨）・5.5T
- 競輪場での高速走行と駆け引きを両立できる競輪方式のレースを行うクラス。

RC KEIRIN メインクラスのモーターについて

なぜ5.0Tを推奨するのか

5.0Tモーターは、十分な加速性能を持ちながら、高速域までスムーズに回転し続ける特性があります。また、ESCへの負担も比較的少なく、安定した運用が可能です。RCカーでケイリンでは、長期間にわたり同じ車両で競技へ参加できる環境も重要だと考えています。そのため、競技性・耐久性・経済性のバランスに優れた5.0Tを推奨としています。

4.5Tモーターについて

4.5Tモーターは、爆発的な加速性能が魅力です。一方で、フル加速時には前輪が浮き上がるほどの強いトルクを発生させる場合があります。しかし、適切なスロットル操作によって十分コントロール可能であり、競技性の一部として成立すると判断しています。そのため、RCカーでケイリンでは4.5Tまで使用可能としています。

4.0T以下を採用しない理由

現在のRCカーでケイリンでは、2セルLiPoバッテリーでの運用を前提としています。この条件下で4.0T以下のモーターを使用すると、ESCへ極めて大きな負荷が発生します。実際のテストでは、ESCの発熱や故障リスクが大幅に増加する傾向が確認されました。競技を長く継続して楽しめる環境を重視し、RCカーでケイリンでは4.0T以下のモーターは採用していません。



ESC (アンプ)



RCカーの心臓部

ESC (Electronic Speed Controller) は、バッテリーからモーターへ送る電力を制御し、加速や減速をコントロールする重要な部品です。RCカーの操作性や耐久性に大きく影響します。

RCカーでケイリンが重視すること

RCカーでケイリンでは、単なる最高出力ではなく、**安定した走行性能と耐久性**を重視しています。

ライトクラス

ライトクラスでは、初心者でも扱いやすく、車両への負担が少ないノンブーストESCを推奨しています。

(現時点は指定ESCではありませんが日本販売代理店取扱い品を推奨とする)
また、ブーストESCについても、ブリンキーモードでの使用を認めています。

なぜノンブーストを推奨するのか

過度な出力競争を避け、選手の操作技術や走行技術を学ぶことを重視しているためです。

また、モーターやESCへの負担も少なく、安定した運用が可能となります。

バッテリー



RCカーでケイリンが目指すもの

RCカーでケイリンは、単なる出力競争ではありません。誰もが参加しやすく、長く安全に競技が続けられる環境を大切にしています。

そのため、バッテリーについても競技性・安全性・耐久性のバランスを重視しています。

そのため、安全管理はルールではなく、

選手としての責任

であると考えています

RCカーのエネルギー源

バッテリーはRCカーを走行させるための電源です。

RCカーでケイリンでは、LiPo（リチウムポリマー）バッテリーを使用します。

RCカーでケイリンが重視すること

RCカーでケイリンでは、競技性だけでなく、**安全性・耐久性・公平性**も重要な要素と考えています。

2セルLiPoを採用する理由

現在のRCカー業界において、2セルLiPoは最も普及している規格です。

多くの選手が同じ条件で参加しやすく、車両や電子機器への負担も抑えることができます。

容量について

RCカーでケイリンでは、長時間の安定した走行を実現するため、6000mAh以上の容量を推奨しています。

また、LP26LONG70Nを推奨バッテリーとしています。

なぜ4セルを採用しないのか

4セルバッテリーは非常に高い出力を得られ、ESCへの負担も軽減されます。

しかし、汎用性や安全性を考え、RCカーでケイリンでは、現時点では2セルLiPoを採用しています。

安全管理



バッテリー充電・走行前チェック

安全確保のため、バッテリーのHVモードでの充電は禁止とします。

また、走行前には電圧チェックを実施し、規定電圧8.40Vを超える車両は走行できません。

事故防止と公平な競技環境維持のため、ご理解とご協力をお願い致します。

安全は競技の第一条件

RCカーでケイリンは、競輪場やスポーツ施設など、多くの方々のご理解とご協力によって開催されています。そのため、競技性よりも優先されるのが安全です。

バッテリーの安全管理

LiPoバッテリーは高性能である反面、誤った取り扱いをすると発火や破損の危険があります。

- 専用充電器を使用する
- 充電中や保管時はリポバッグを使用する
- 膨張したバッテリーは使用しない
- 充電中は目を離さない

これらを必ず守ってください。

車両の安全管理

高速走行を行う競技であるため、走行前には必ず車両を点検してください。

- ステアリングの動作確認
- サーボホーンやリンケージの確認
- タイヤの接着、ホイールナットのゆるみ確認
- バッテリー固定確認
- ネジの緩み確認

走行時の安全管理

RCカーでケイリンでは接触しないことが最も重要です。

自分だけでなく、他の選手や観客の安全も考えながら走行してください。

タイヤ (タイヤ・インナー・ホイール)



RCカーでケイリンが目指すもの

私たちは、タイヤによる優位性ではなく、同じ条件の中で生まれる駆け引きや判断力に価値があると考えています。
そのため、タイヤも競技の重要なレギュレーションの一つとしています。

路面と接する唯一の部品

タイヤはRCカーの加速・旋回・制動性能を大きく左右する重要な部品です。
RCカーでケイリンでは、タイヤ性能の差ではなく、
選手の判断力や駆け引きによって勝負することを重視しています。

指定タイヤ制について

RCカーでケイリンでは、公平な条件で競技を行うため、
指定タイヤ・指定インナー・指定ホイールを採用しています。

なぜ指定タイヤなのか

タイヤ性能による差が大きくなると、選手の技術や判断力よりも、
使用するタイヤによって勝敗が左右されてしまいます。
RCカーでケイリンでは、誰もが同じ条件で競える環境を重視しています。

路面環境を守るため

競輪場やスポーツ施設では、路面への影響も重要です。
そのため、グリップ剤やタイヤウォーマーの使用は禁止しています。
また、他のRCサーキット等で使用したタイヤの持ち込みも認めていません。

指定タイヤ

- タイヤ : DW-36R
- インナー : EXP-LSシリーズ
- ホイール : WKSシリーズ
- ※会場や路面状況により変更する場合があります。

操作技術と安全走行

操作技術は安全への第一歩

RCカーでケイリンでは、高速域で複数台が同時に走行します。そのため、

速く走る技術だけでなく、正確に操作する技術が重要です。

思い通りに走らせる

選手は常に、アクセル ブレーキ ステアリング を使いながら車両をコントロールします。

まずは自分の車を思い通りに走らせることが重要です。

周囲を見る力

RCカーでケイリンでは、自分の車だけを見ていては安全に走行できません。

周囲の選手の位置や動きを把握しながら、

状況を判断する力が求められます。

接触しない技術

RCカーでケイリンは、接触せずに位置取りと駆け引きによって勝負する競技です。

そのため、接触を避ける技術そのものが重要な競技能力となります。

安全走行の基本

- 急な操作を行わない
- 車両を安定させる
- 周囲の状況を確認する
- 接触回避を最優先に考える



【使用機器に関する推奨事項】

RCカーでケイリンでは、参加者、来場者および運営関係者の安全確保ならびに事故発生時の責任所在を明確にする観点から、モーター、ESC（アンプ）、送信機、受信機、バッテリーについては、日本国内の正規輸入代理店を通じて販売された製品の使用を強く推奨します。

正規流通品は、製品保証やサポート体制が整備されている場合が多く、万一、製品の不具合、誤作動、発火、暴走その他の事故が発生した際にも、適切な対応を受けられる可能性があります。

使用する機器の選択および管理については、参加者本人の責任において行うものとします。

並行輸入品、個人輸入品、または正規輸入代理店の保証・サポート対象外となる製品を使用することは可能ですが、これらの製品に起因する不具合、事故、損害等については、参加者本人がその責任を負うものとします。

また、日本国内に在住し、一般財団法人日本ラジコン電波安全協会のラジコン操縦士登録を行った会員は、「ラジコン補償制度（団体日常生活補償保険）」へ加入する仕組みとなっています。

RCカーでケイリンでは、このような安全制度に加え、参加者一人ひとりが安全性を意識した機器選択および管理を行うことで、より安全で安心できる競技環境の構築を目指しています。

なお、主催者は安全上の理由により、著しく危険であると判断した機器や、適切な管理状態にない機器について、使用の中止または交換を求める場合があります。

RCカーでケイリンの特徴

ペースカー先導によるレース

実際の競輪と同様に、ペースカーが選手を先導します。選手は隊列を維持しながら位置取りを行います。

駆け引きが重要

スタート直後から全開ではありません。どの位置を取るのか、どこで仕掛けるのか、選手の判断力が求められます。

接触しない競技

RCカーでケイリンでは、接触による排除ではなく、位置取りと判断力によって勝負します。

一瞬のスプリント勝負

ペースカー離脱後、レースは一気に加速します。

最後の勝負は一瞬です。

観客も楽しめる競技

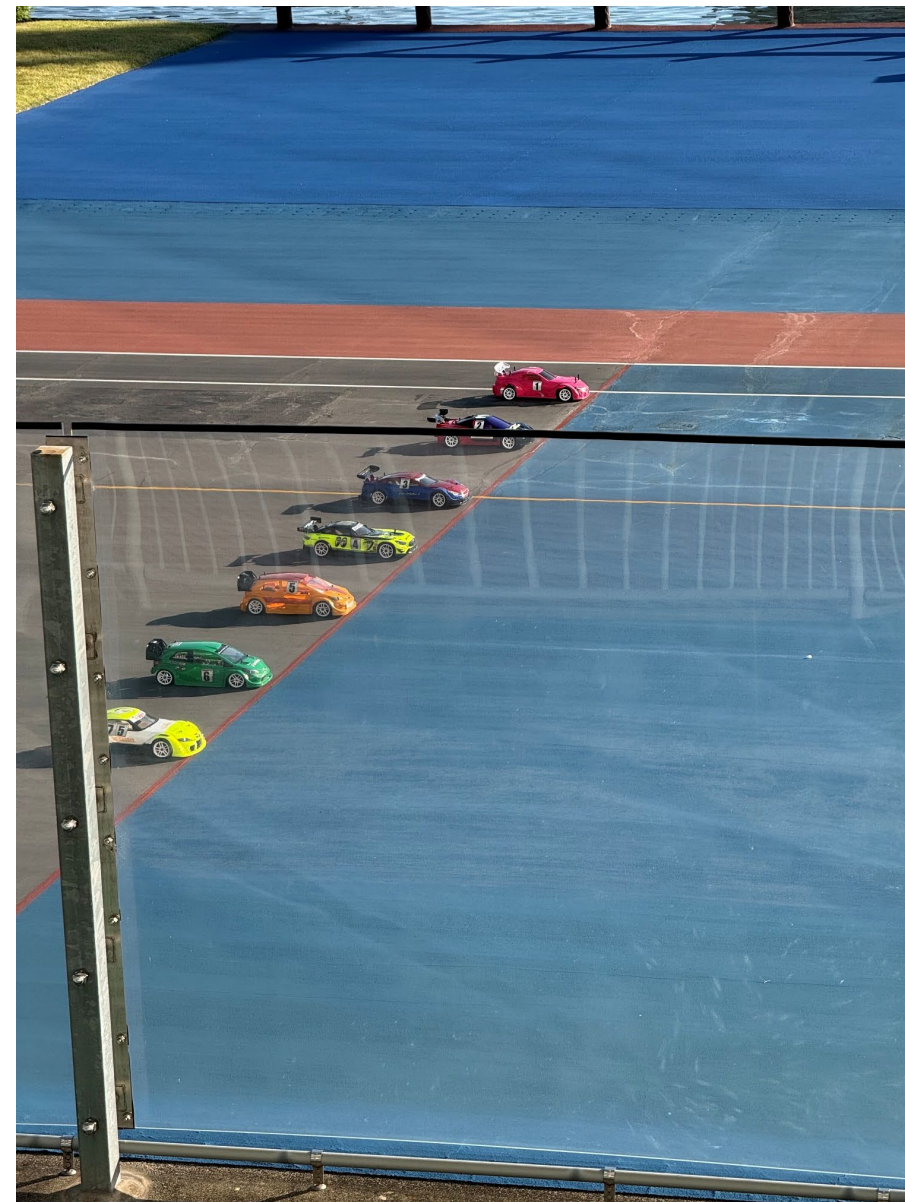
選手同士の駆け引きや位置取りは、観客にも分かりやすく、応援したくなるレースを生み出します。



レースの流れ

RCカーでケイリンのレース進行

- スタート
- ペースカー先導
- 隊列走行・位置取り
- ペースカー離脱
- 残り1.5周
- スプリント勝負
- ゴール
- 競輪を参考にした独自方式でレースを行います。



ペースカーの役割

なぜペースカーが必要なのか

ペースカーは単なる先導車ではありません。

- 安全な速度管理
- 隊列形成

公平なスタートを行う重要な役割があります。

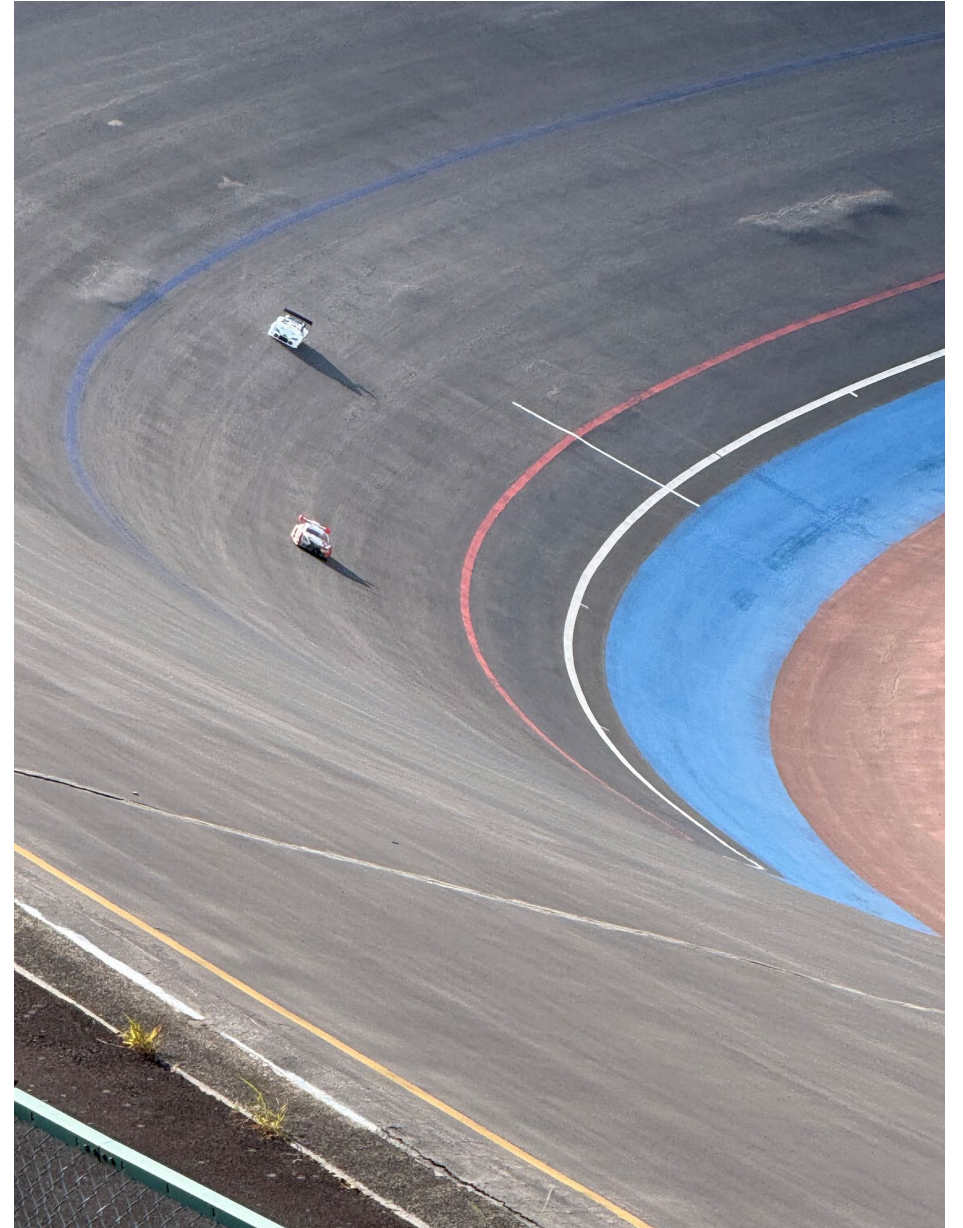
RCカーでケイリンの競技性を支える存在です。



バンクの特徴

競輪場ならではの走行環境

- 競輪場のバンクは一般的なRCサーキットとは大きく異なります。
- 高速コーナリング
- 大きな遠心力
- 独特のライン取り
- が求められます。
- 初参加者向け講習会では、安全な走行方法を説明します。

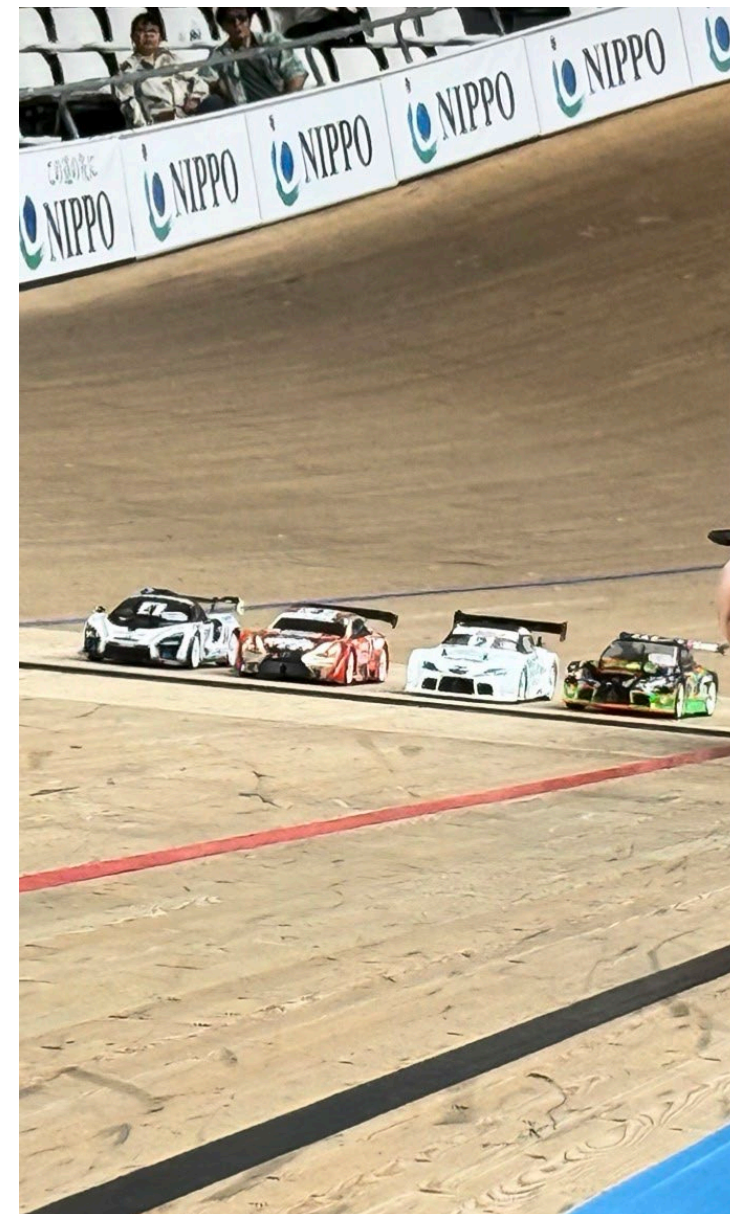


RCカーでケイリンの理念 和競道

和して競い、道を創る。

WAKYODO

Race with Respect. Build the Future.



走行理念（最重要）

なぜこのルールがあるのか

RCカーでケイリンでは、**位置取り・判断力・駆け引き**を競技の本質と考えています。

そのため、競技の理念や公平性を損なうような仕様や運用ではなく、競技全体の発展を見据えた車両づくりと走行を求めています。また、

- 接触行為
- 幅寄せ
- 後続車への進路妨害

は推奨されません。

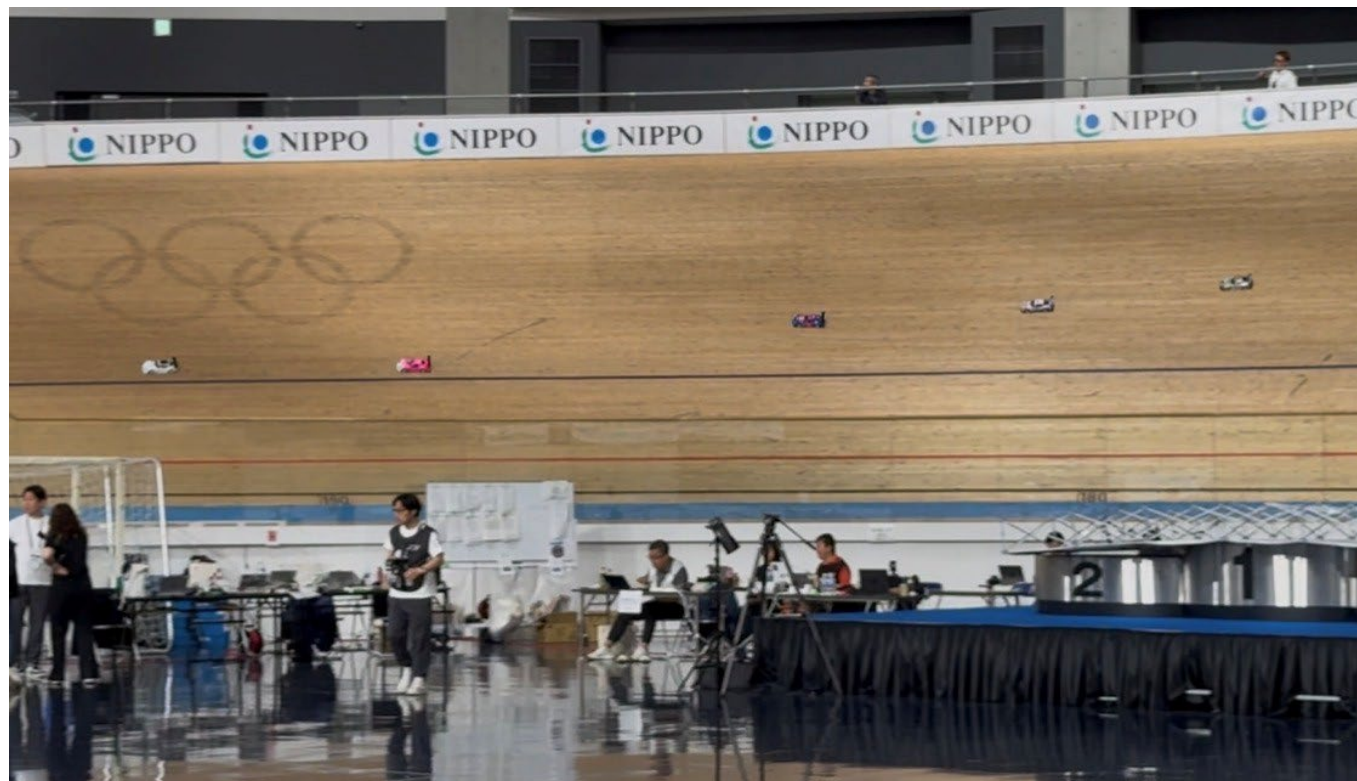
強引に前へ出るのではなく、位置取りと判断力によって勝負することに価値があります。

観客を魅了しながら、競技を継続するための考え方です。



レース中の禁止事項

- ペースカーへの接触
- ペースカー追い越し
- 危険な進路変更
- 故意の接触
- 他車を押し出す行為
- 安全性と公平性を維持するためのルールです



ライセンス制度

安全に競技へ参加するために

RCカーでケイリンでは、走行技術だけでなく、
競技理念や安全走行の理解も重要と考えています。
そのため段階的なライセンス制度を採用を
検討しております。



ライト制度

■ 初めての方へ

- RCカーでケイリンは、
- 初参加者でも段階的にステップアップできる仕組みを用意しています。
- まずはライトクラスから参加し、
- 安全走行と競技の考え方を学びます。



参加までの流れ

RCカーでケイリンへ参加するには

RCカーでケイリンでは、安全に競技を楽しんでいただくため、段階的な参加制度を採用しています。

STEP1

- ライトクラスへ参加

まずはライトクラスで、

- 競技の考え方
- バンクの走り方
- 安全走行

を体感しましょう。

STEP2

- 講習会・練習会への参加

競輪場特有の走行方法や、RCカーでケイリンの理念を楽しみながら理解しましょう。

ライセンス取得も講習会や練習会で実施を検討しております。

STEP3

- RCカーでケイリンへ挑戦

ライセンス取得後、RCカーでケイリンクラスへ参加できます。

STEP4（今後の展開）

- 上位ライセンス取得

安全走行と競技理解が認められた選手は、上位クラスやエキシビジョン走行へ挑戦できます。

講習会や練習会の指導役としてご活躍頂ける場となります。

私たちが大切にしていること

RCカーでケイリンでは、速さだけではなく、安全性

・判断力・思いやりを大切にしています。

競技を長く続けていくためにも、全ての参加者が

安心して走行できる環境を目指しています。

初めて参加される方へ

必要なのは速さではありません

RCカーでケイリンでは、

- 安全に走る
- 相手を尊重する
- 和競道の理念を理解し実践することを大切にしています。

まずはライトクラスから参加し、
競技の考え方やバンク走行を
体験してください。



当日の持ち物

- 必要なもの
- RCカー
- 送信機
- バッテリー
- 充電器
- リポバッグ
- 工具
- スペアパーツ

※会場ごとに異なる場合があります。



車両準備と参加費

車両

- 1/10 電動フルタイム4WDツーリングカー
- 指定ボディ（190mm タミヤ製ツーリングカーボディ）
- 別途表を参照
- 指定タイヤ・ホイール・インナー
- 指定または規定に適合したモーター・ESC
- LiPo 2セルバッテリー
- シャーシはフルボトムした際に路面に当たらないよう調整すること

送信機

- 2.4GHz送信機・受信機
- フェイルセーフ設定済み

ピット用品

- バッテリー充電器
- リポバッグ
- 基本工具
- スペアパーツ
- タイヤ接着剤（事前準備）
- ※車両は大会当日に車検を実施します。

参加費

イベント参加費

イベント毎に参加費、およびお支払い方法が変更となります

ご確認の上、お支払いください。

※チケット発券手数料は別途必要となる場合があります。

ライトクラス

初めて参加される方は、まずライトクラスへの参加を推奨しています。

ライトクラスでは、

- バンク走行
- レースの流れ
- RCカーでケイリンの理念
- 安全な走行方法

を体感する事ができます。

指定ボディについて（190ミリ タミヤ製ツーリングカーボディ）

ボディ規定

1. 指定ボディ

指定ボディは、タミヤ製1/10電動ツーリングカー用190mmボディとします。

使用できるボディは、実車の市販車、または市販車をベースとしたレース車両をモチーフとしたデザインに限ります。

ただし、フォーミュラカー、コンセプトカー、架空車両、実車として一般販売されていない車両は使用できません。

本規定に適合するボディを使用してください。不明な場合は、事前に運営へ確認してください。

2. ボディ加工

ボディは取扱説明書に準じて製作してください。

認められる加工は、ボディマウント穴、アンテナ穴、ホイールアーチのカット、ボディキャッチ部の補強、塗装およびステッカー貼付とします。

競技性能の向上を目的とした軽量化や空力性能を変更する加工は認めません。



3. リヤウイング

リヤウイングは、ボディ付属の純正ウイング、またはタミヤ製オプションウイングのみ使用できます。

社外製ウイングおよび加工品は使用できません。

ウイングは取扱説明書に準じた位置へ取り付けるものとし、空力性能の向上を目的とした延長、追加加工、形状変更は認めません。

4. ボディ装着

競技中はボディを確実に固定してください。

ボディが著しく変形または破損し、安全な走行が困難と判断された場合は、競技委員の判断により修理または交換を求める場合があります。

5. 運営判断

本規定に記載のない事項については、競技の公平性、安全性、観客性およびRCカーでケイリンの理念「和競道」に基づき、競技委員会が最終判断を行います。



よくある質問 (Q&A)

- Q. RCカー初心者でも参加できますか？
 - A. ライトクラスから参加できます。
- Q. 競技経験が無くても大丈夫ですか？
 - A. 問題ありません。講習会や練習会でサポートします。
- Q. なぜライセンス制度があるのですか？
 - A. 安全性と競技理解を高めるためです。
- Q. なぜ指定タイヤなのですか？
 - A. 公平な条件の中で競技を行うためです。
- Q. なぜ4WDツーリングカーなのですか？
 - A. 普及率・安全性・公平性・将来性を考慮して採用しています。
- Q. なぜ競輪場で開催するのですか？
 - A. RCカーでは体験できない高速域での隊列走行や位置取りを実現できるためです。



協力団体・協力企業

多くの皆様のご協力によって実現しています

RCカーでケイリンは、競輪場、競技団体、企業、RC関係者の皆様のご理解とご協力によって開催されています。

私たちは単なるRCレースではなく、競輪場を活用した新しいモータースポーツ文化の創造を目指しています。

主な協力団体・企業

競技・施設関係

- 伊豆ベロドローム
- 和歌山競輪場
- 岐阜競輪場

RC関連企業

- PRO-SPEC
- ORCA / ORCA USA
- Sweep Racing

協賛企業

- 株) H2スマートテックジャパン
- 有) H.K.G
- 株) WORK
- Mx Frictionless



株式会社H2スマートテックジャパンから一言 「水素で世界を豊かにする」

を理念に掲げ、次世代エネルギーと技術人材の育成に取り組んでいます。

RCカーは、楽しみながら機械・電気・制御技術に触れることができる教育ツールであり、多くのエンジニアやモータースポーツ関係者を育ててきました。

私たちは、RCカーでケイリンを通じて、将来のエンジニアやモータースポーツファンを育み、日本のものづくり文化と技術発展に貢献したいと考えています。

技術への興味を持つ人が増えること、そしてその技術を応援するファンが増えること。

その両方が、未来の技術大国日本を支える力になると信じています。

開催実績

RCカーでケイリンの歩み

RCカーでケイリンは、競輪場や自転車競技施設を活用しながら実走テストとイベント開催を重ねています。

競技としての完成を目指し、多くの方々のご協力のもと、一步ずつ実績を積み重ねています。

- **主な開催実績**
- **伊豆ベロドローム（2025年5/31-6/1、2026年6/12-14）**
- RCカーでケイリン エキシビション開催
- 2025JapanTrachCUP内イベントにて実施
- 2026全日本選手権会場内イベントにて実施
- 一般来場者向け体験走行会実施
（2026年2日間で168名が体験走行）
- **岐阜競輪場（2025年11/14-16）**
- 400mバンクでの走行テスト（2024年、2025年10/25-26実施）
- エキシビションイベント開催（2025年11/14-16）

- **和歌山競輪場（2025年11/27-30）**
- 400mバンクでの開催
- 本格開催へ向けた実証実験
- 一般参加型イベント
- **SNS・メディア実績**
- 伊豆ベロドローム、岐阜、和歌山走行動画（2025年）
 - 2日間で100万回再生突破
 - 累計600万回再生以上

次のステージへ

RCカーでケイリンは、競輪場・企業・参加者の皆様と共に、新しいモータースポーツ文化の創造を目指しています。

RCカーでケイリンが目指す未来

後世に残る競技文化へ

- RCカーでケイリンは、単なるRCレースではありません。
- 私たちは、公平な条件の中で、駆け引き・判断力・思いやりを競う新しいモータースポーツ文化の創造を目指しています。

誰もが参加できる競技へ

- 将来的には、より多くの方が公平な条件で参加できる環境作りを目指しています。
- 車両性能や予算の差ではなく、選手の判断力や技術が主役となる競技へ。
その実現に向けて、競技環境の整備を進めています。

技術と人材を育てる

- RCカーは、機械・電気・制御技術を学ぶ入口でもあります。
- RCカーでケイリンを通じて、将来のエンジニアやモータースポーツファンを育み、日本の技術発展に貢献したいと考えています。

世界へ

- 駆け引き、判断力、思いやり。
- これらは国や言語を超えて共有できる価値です。
- 日本で生まれたRCカーでケイリンを、世界中の人々が楽しめる競技へ育てていくことを目標としています。

未来は参加者と共に作る

- RCカーでケイリンは、運営だけで作る競技ではありません。
- 参加者、観客、競輪場、企業、そして応援してくださる皆様と共に、未来の競技文化を創り上げていきます。

「速さだけではない。人が主役のモータースポーツへ。」

ライセンス制度についての今後の課題と考え方①

RCカーでケイリンでは、「安全性」「競技性」「観客性」を両立するため、将来的にライセンス制度の導入を予定しています。

これは参加者を制限するための制度ではなく、誰もが安全に参加できる環境を整え、新しい競技文化を継続して発展させるための仕組みです。

なぜライセンス制度が必要なのか

RCカーでケイリンは、一般的なRCカーレースとは異なり、複数台が集団で走行しながら駆け引きを行う競技です。

- 単独走行の速さだけではなく、
- 周囲の状況を把握する力
- 瞬間的な判断力
- 他者を思いやる意識
- 安全を最優先する姿勢

が求められます。

競輪場やベロドロームという特殊な環境では、一人の判断ミスが複数台のクラッシュやイベント全体の安全性に影響を与える可能性があります。

そのため、一定の知識や走行経験を共有する仕組みとしてライセンス制度を検討しています。

現在の課題

ライセンス制度については、まだ発展途上であり、運営協議会としても様々な課題があると考えています。

課題1 何を評価するのか

単純なラップタイムや最高速度だけで評価するべきではありません。

RCカーでケイリンでは、

- 安全な走行
- 周囲への配慮
- ルール理解
- 安定した操作
- 駆け引きの理解

なども重要な要素です。どのような基準で評価するべきかは、今後も継続的な検討が必要です。

ライセンス制度についての今後の課題と考え方②

課題2 初心者が加しやすい制度

ライセンス制度は参加への壁になってはいけません。

RCカーでケイリンは、経験者だけの競技ではなく、初めてRCカーに触れる方や、

子供たちにも楽しんでもらいたいと考えています。

そのため、

- 体験走行
- ライトクラス
- 練習走行会

などを通じて、段階的にステップアップできる仕組みが必要です。

課題3 公平性の確保

誰が見ても納得できる制度でなければなりません。

特定の人だけが有利になる制度ではなく、

参加者全員が同じ基準で評価される仕組みを目指しています。

目指すライセンス制度

将来的には、

体験走行

↓

ライトクラス

↓

認定走行

↓

RCカーでケイリンライセンス取得

↓

上位カテゴリーへの参加

という流れを想定しています。

ただし、現時点で制度を固定する予定はありません。

実際のイベントや練習会を重ねながら、参加者の皆様と共に最適な形を作り上げていきたいと考えています。

皆様と一緒に作る制度

RCカーでケイリンは、まだ新しい競技です。

だからこそ、ライセンス制度も運営側だけで決めるのではなく、参加者、協力者、観客の皆様と意見を交わしながら成長させていくべきものだと考えています。

安全に、思いやりを持って競い合い、観客を魅了する走りを後世へ残していくために。

ライセンス制度もまた、その文化を支える仕組みの一つとして、皆様と共に育てていきたいと考えています。



安全に楽しい文化を！

- 皆様と共に！
- ケイリン方式のハイスピードバトルの興奮を！
- 後世に残る新しい文化を作り上げましょう！



RC-KEIRINへようこそ



新しいモータースポーツ
「RCカーでケイリン」